

大使館からのお知らせ（チクングニア熱及びデング熱について）

平成26年4月10日

報道によると、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス、ドミニカ国、仏領・英領及び蘭領の島等において、チクングニア熱の感染が確認されました。

上記の国に渡航される場合は、十分に気をつけてください。感染者が確認されていない国においても、同様にお気を付け下さい。

主な症状は、発熱、四肢の関節痛、頭痛、筋肉痛、むくみ、発疹等です。デング熱に似た症状ですが、デング熱よりも熱が高く関節痛が激しい点が異なり、発熱と関節痛は1年ほど続く場合があります。

何らかの症状が見られた場合には、速やかに医師による診察を受けることが必要です。

また、流行は確認されていませんが、トリニダード・トバゴにおいてデング熱感染者数が増加しています。

チクングニア熱、デング熱ともにネッタイシマカを媒介して感染します。以下の点に留意してください。

- ・貯水タンクやバケツ、ドラム缶はしっかりとふたをする。
- ・水が溜まりやすい古タイヤ、ボトル、缶等は廃棄する。
- ・排水溝、トイレタンク等にふたをする。
- ・その他、ネッタイシマカの繁殖場所となる花瓶、おもちゃ、用具入れ等を戸外に放置しない。
- ・防虫スプレー使用し、長袖を着用する。
- ・室内ではエアコンや網戸、蚊取り線香等を使用する。

※新たな情報やご質問、ご要望等は大使館領事担当までお知らせください。

在トリニダード・トバゴ日本大使館

領事担当 真田明彦

電話 868-628-5991（内線215）

E-mail : [ryouji@po.mofa.go.jp](mailto:ryouji@po.mofa.go.jp)